

新しい森林都市づくりが進む

緑豊かな流山で、



こんにちは、あずまです。今月は、親友の美奈子と『流山おおたかの森駅』にやってきました。ここは駅の南口から出てすぐにある『流山おおたかの森S.C.』。ファッション専門店にレストラン、スーパー、書店など135店舗がそろう広大なショッピングセンター。シネコンもありましたよ。(MAPの④)

今回の登場人物



田島美奈子  
あずまの高校時代からの親友。映画鑑賞が趣味で、茶道の心得も。柏市在住。



葉平あずま  
葉平家の長女。母親が経営する小学生向け英会話教室を手伝う。趣味は旅行。



東武野田線初石駅と豊四季駅の間に、平成17年8月に開業。すでに駅名が決まっていた、つくばエクスプレス「流山おおたかの森駅」との乗換駅としての利便性も考え、同じ駅名になりました。

流山おおたかの森

(ながれやま  
おおたかのもり)

今年、東武野田線に、新型車両60000系がデビューしました。LED照明の採用などで省エネ化を図り、車内では公衆無線LANサービスも提供しています。その野田線の初石駅と豊四季駅の間に新しく駅が誕生したのは2005年。つくばエクスプレスと交差する駅の名前は「流山おおたかの森」です。豊かな緑の大地に2路線の連絡駅が開業したことから、いま、この駅を中心に新しい街づくりが進んでいます。





次にやってきたのは、土塁が残る「花輪城址公園」。戦国時代、現在の松戸市にあった小金城を本地地とした高城氏に属した城で、空堀と土橋などが発掘されました。高城氏が滅んだ16世紀末、その役割を終えたそうです。(MAPの③)



西口から東武バス「南流山駅行」に乗車して「三輪野山近隣公園前」で下車します。バス停のすぐ前にある階段を上れば、広々とした雑木林が広がっていました。遊歩道も整備され、市街地を一望することもできます。(MAPの④)



ここは平安時代初期の書物にも記されているという「茂侶神社」。毎年1月には、大きな俵え餅を男衆が裸で奪い合い、餅の割れ方でその年の作柄を占う「チンガラ餅行車」という奇祭が行われることでも有名です。(MAPの⑤)



江戸川まで足を延ばしました。サイクリングロードが整備され、川の向こうには東京スカイツリー⑥の姿も。少し下流には「矢河原の渡し跡」の碑が、新選組の近藤勇が新政府軍に単身出頭した際、この渡しを使ったそうです。(MAPの⑥)

## 流山市の新たな交通拠点は 緑豊かな市街地を目指す

駅名の「おおたかの森」というのは、駅の西方に広がる市野谷の森をはじめとする一帯の森のこと。鬱蒼としたこの森には昔から絶滅危惧種のオタカが生息し、「おおたかの森」と呼ばれているのです。駅前の再開発で森の面積は小さくなりましたが、遊歩道などを設置した森林公園に整備されるそうです。

東武野田線とつくばエクスプレスが立体交差する駅舎は大きく、東西南北に出入り口があります。その南口に建つのが、「流山おおたかの森S.C.」。食品スーパーをはじめシネマコンプレックスやファッション、飲食、生活雑貨など135のショップがあつて、地域の核となる大型商業施設です。駅の周辺は、流山市の新たな市街地として開発が進む一方で、豊かな緑を絶やさないために、あちこちに緑地や公園が設置されています。

では、西口からバスに乗って江戸川を目指し、近隣のスポットを巡ってみましょう。

まずは三輪野山近隣公園。昔は地主の方が近所の人たちと丹誠込めて手入れをしていた雑木林だったそうです。いまも広い雑木林の中に遊歩道を整備した自然いっぱいの公園で、途中にはアスレチックなどの木製遊具が充実しています。

花輪城址公園は、戦国期の小金城主高城氏の支城と伝わる中世城郭跡。土橋や犬走り跡、観音堂礎石などが保存されています。観音堂にはかつて「朝寝坊の観音」と呼ばれる本尊があり、現在は流山市内の西栄寺に安置されています。





ここは「円東寺」という真言宗のお寺。市指定有形文化財の「石造十二神将」は「厳めしくなく、アニメのキャラクターを連想するほど」。このお寺では月に一度「森のマジカフェ」をオープン。ハレシな料理を楽しめます。(MAPの④)



バスに乗って再び駅へ。駅の改札横にあった「プルマニユ」というバーカリー・カフェに入り、イトインコーナーでマスクメロンパンなどをいただきました。ショッピングセンターにもレストランがたくさん揃っていますよ。(MAPの⑥)



最後にもう一度、ショッピングセンターを回ってショッピングを楽しみました。今夜はこれから美奈子の住む柏と一緒に向かいます。野田線のホームに出ると、ラッキーなどに話題の新型車両6000系が入ってきましたよ。



「オランダ観音」という名に惹かれて行ってみました。徳川幕府がオランダ経由でベルシャ馬を輸入したところ、環境の変化もあってか暴れ回り、やむなく狙撃されることに。その馬の霊を祀るために建てた祠 だそうです。(MAPの⑨)

## 江戸川の流れとともに 自然と人が紡いできた暮らし

やがて江戸川の堤防に出ました。江戸時代に開削された江戸川は関宿の利根川から始まって東京湾まで全長約53km。流山は醤油づくりの野田と同じく江戸川を利用した水運で栄え、いまもその水は農業用水として田畑を潤しています。緑地や運動公園が広がり、江戸川サイクリングロードが延びる河川敷には爽やかな風が流れています。森に囲まれてひっそりとした佇まいを見せるのは、茂侶神社。小さいながら平安初期の書物にその名が記されているという由緒ある社です。

次は流山おおたかの森駅周辺を歩いてみます。市野谷の森の近くにある円東寺の寺宝は、石造十二神将(流山市指定有形文化財)です。江戸時代に造られたようですが、何かしら素材で愛らしいお姿。木造ではなく石の丸彫り像であることが珍しく、貴重なものです。

駅の北側には「ふくろうの森」。実際にふくろうが棲んでいた森で、園内には庭園やふくろう博物館、工房、カフェなどの施設があります。ただ、現在は周辺の区画整理工事のために休園中。来年春に再開するそうです。

ふくろうの森の近くにひっそりと建つ小さな祠。江戸時代にオランダから馬を輸入し放牧したものの、環境の変化で凶暴になったので、やむなく殺処分。その馬の運命を哀れんだ人々が建てた祠で、「オランダ観音」と呼ばれています。

街づくりが進む流山おおたかの森駅周辺。でも、それとは別に、ここにはずっと昔から自然と人が紡ぐ暮らしがあり、歴史があったのです。



まだまだ開発中の街のため、場所により道が変わっている事があります。  
(平成二十五年七月現在)



**流山おおたかの森データファイル**

〈流山おおたかの森S・C〉・・・●交通=流山おおたかの森駅南口から直結 ●営業時間=ショップ/サービス 10:00~21:00、レストラン11:00~22:00 ●定休日=年中無休 \*一部営業時間が異なる店舗があります。 ☎04-7152-3333 (代)

〈ペーカリーカフェ プルマーニュ〉・・・●交通=流山おおたかの森駅改札脇 ●営業時間=7:00~22:00 ●定休日=年中無休 \*マスクメロンパン168円、竹炭焙煎コーヒー268円 \*PASMOが利用できます。 ☎04-7178-2981

〈円東寺 森のベジカフェ〉・・・●交通=流山おおたかの森駅徒歩15分 ●営業時間=12:00~14:00 \*月に1回開催。 \*予約はHPからのみ受付。  
<http://vegcafe.shikisokuzekuu.net/>  
●料金=1500円(月替わりベジ・プレート/デザート盛り合わせ・三年番茶付き) \*毎月10日(14:00~)は「写経のつどい」(300円)、毎月20日(20:00~)は「お寺ヨーガ」(300円)開催。 ☎04-7150-1313



矢野原の癒し跡  
ここからも東京スカイツリーが見えましたよ。